

創業117年企業で受け継がれてきた「謙虚さを成果につなげる習慣」

目立たないのにうまくいっている

2026年
7月30日
発売

謙虚な人の習慣

株式会社あさ出版(代表取締役:田賀井弘毅、所在地:東京都豊島区)は、石黒 功 著『目立たないのにうまくいっている 謙虚な人の習慣』を2026年7月30日(木)に発売いたします。

仕事の成果も、モチベーションも、スキルアップも、人脈も、謙虚さがカギ

本書は、愛知県豊橋市に本社を置き、農業を総合的に支援する企業グループであるイノチオホールディングス株式会社の取締役会長である著者が、117年以上続く会社で代々受け継がれてきた「謙虚さ」をもとに、仕事や人間関係、学び、運とお金に恵まれるための習慣を紹介する一冊です。

謙虚とは、自分を小さく見せることではありません。本書で伝える謙虚さとは、大きな実りを結ぶための「確かな生き方」です。靴をそろえる、ゴミをひとつ拾う、店員さんに「ありがとう」と伝えるなど、日々の小さな行動を通して「謙虚体質」を身につける方法を解説。

信頼できる仲間や協力者が集まり、信頼とチャンスを得るための秘訣を紹介します。

タイトル:目立たないのにうまくいっている 謙虚な人の習慣

著者:石黒功

ページ数:224ページ

価格:1,892円(10%税込) 奥付発行日:2026年7月31日

ISBN:978-4-86667-798-9

※価格は発売時点の価格のため変更となる場合があります

【目次】

- 第1章 なぜ、謙虚な人はうまくいくのか？
- 第2章 自分のなかに「謙虚さの土台」をつくろう
- 第3章 なぜ、謙虚な人は人間関係がうまくいくのか？
- 第4章 なぜ、謙虚な人は仕事thatうまくいくのか？
- 第5章 なぜ、謙虚な人は学習意欲も効果も高いのか？
- 第6章 なぜ、謙虚な人は運とお金に恵まれるのか？

【著者プロフィール】



石黒功(いしぐろ・いさお)

イノチオホールディングス株式会社取締役会長
公益財団法人功農支援会代表理事

1952年、愛知県生まれ。名古屋市立大学大学院薬学研究科修士課程修了後、薬局チェーン勤務を経て、株式会社石黒製薬所へ入社。39歳でイングロ農材株式会社の社長を継承し、農業分野に特化した事業展開を推進。

現在、創業117年目を迎え、創業者の唱えた「自分のいのちは、世のため人のため、他に尽くすためにある」との利他の心を受け継ぎ、グループ理念である「イノチオフィロソフィ」を原点に、農業を総合的に支援する企業グループの発展に尽力している。



謙虚さとは、才能を私物化しないこと

世の中には、謙虚という言葉について、さまざまな定義がありますが、長年、自分なりに考え続け、ようやく腑に落ちたのが、「**謙虚さとは、才能を私物化しないこと**」という定義です。

私たちはみな、何かしらの才能を持って生まれてきています。問題は、それを「自分の力で得たもの」だと思ってしまうことです。あなたの才能は、本当にあなたひとりの力で生まれたものでしょうか。

両親から受け継いだ気質、育ててくれた家族、たまたま出会った友人、手にすることができた本、与えられた経験や環境……。それらすべてが組み合わさって、才能となり、あなたのなかに今、存在しているのです。

つまり、才能の正体は、「自分のもの」ではなく、「自分の手元に、たまたま預かっているもの」と考えることができます。

なぜ、謙虚な人はうまくいくのか？

なぜ、謙虚な人はうまくいくのでしょうか。

その理由は、「**おかげさま**」の心を持ち、**日々の言動に嘘がなく、周囲の人に対して安心感を与える**からです。

自分の力を過信することなく、周りの人の貢献を正しく称え、喜びや成果を惜しみなく分かち合うことができます。

だからこそ、その姿勢に触れた人たちから「この人と一緒に何かをしたい」「この人を全力で応援したい」と思ってもらえるようになり、大きな信頼とチャンスが自然と集まってくるのです。

また、謙虚な人は、どんな状況からでも学ぼうとします。

たとえ、目の前の状況がうまくいかないときであっても、それを単なる不運とするのではなく、「この経験にはどんな意味があるのだろう」「ここから何を学べるだろう」と自分に問いかけます。

あらゆる出来事を大切な「教え」や「データ」と捉え、成長の糧へと変えていくのです。

「謙虚体質」を身につけるシンプルな方法

おすすめしたい具体的な入り口が、**古くから日本に伝わる「陰徳(いんとく)」、つまり「積善(せきぜん)」の実践**です。陰徳とは、「人に知られないところで、そっと良いことをする」という意味です。「積善」とは、文字通り「善いことを積む」という意味です。

誰かに褒められるためでも、評価されるためでもなく、ただ自分のために、小さな善いことを積んでいく。本書では、この実践を主に「積善」という言葉でお伝えしていきます。

積善が謙虚体質づくりの土台になる理由は2つあります。

ひとつ目は、人に見られていないから、気軽にやれること。

2つ目は、見返りを期待せずに謙虚な行動をする習慣がつくから、自然と謙虚な心が育つことです。

謙虚であると得られる3つの良質な人間関係

「良き人との出会い」を引き寄せる最大の力こそが、謙虚さです。謙虚であると、人間関係においても大きく3つの恵みがもたらされます。

ひとつ目は、「**良き師(メンター)**」と**出会え、深い関係を結べる**ことです。良き師と出会えるかどうかは、運でも偶然でもなく、その人が「学ぼうとしている姿勢」を持っているかどうかで決まります。

2つ目は、「**志を同じくする仲間**」と**出会い、深い関係を結べる**ことです。良き師と出会えた人は、その師のもとに集う、同じ志を持った仲間たちと出会えます。

3つ目は、「**余計な敵ができない**」ことです。謙虚でいることは、あなたを「思わぬ損失」からも守ってくれる、ということです。